

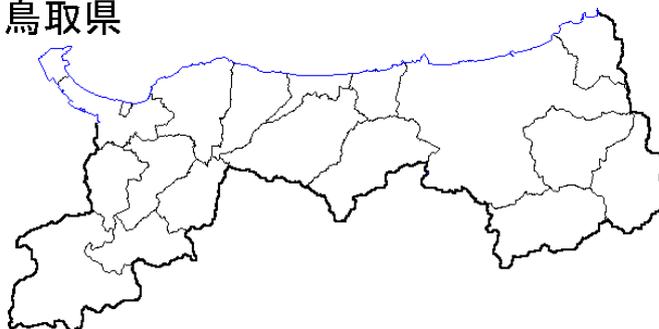
第29回 全国聴覚障害教職員シンポジウム 鳥取大会

大会テーマ

「共に語り合おう！学び合おう！みんなで繋がろう！」
～手話言語条例と一緒に創る可能性の広がり～



鳥取県



期 日	令和4年8月6日（土）～7日（日）【2日間】
会 場	米子コンベンションセンター BIGSHIP【ハイブリッド形式】
主 催	全国聴覚障害教職員協議会
主 管	第29回全国聴覚障害教職員シンポジウム鳥取大会実行委員会
後 援	文部科学省 鳥取県 米子市 鳥取県教育委員会 (予定含む) 米子市教育委員会 全国聾学校長会
協 力	一般財団法人全日本ろうあ連盟 公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 鳥取県立鳥取聾学校 鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校

実行委員長挨拶

手話言語条例の制定自治体は 452 を数えました。(2022 年 4 月 22 日現在判明分) 全国の自治体の 4 分の 1 を達しました。そして、2013 年 10 月 8 日に全国初となる手話言語条例が制定された鳥取県でシンポジウムを開催します。

今回の大会テーマは「共に語り合おう！学び合おう！みんなで繋がろう！～手話言語条例と一緒に創る可能性の広がり～」です。新型コロナウイルス感染症により、2 年連続でシンポジウムが延期になるだけでなく、教育現場での対応も大きく変わってきました。ICT が積極的に活用され、子どもたちの学びも私たち仲間の働き方も大きく変化しています。国においては、「難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育のプロジェクト」もスタートしています。きこえない・きこえにくい子どもたちや私たち仲間を含めたらう教育の過渡期を迎えています。そんな状況においても、共に語り合う、学び合う、そして繋がることに大きな意味があると考え、テーマを設定しました。

今回のシンポジウムはハイブリッド形式で開催します。全国各地の教職員の仲間とともに、未来ある子どもたちのために研修を深めたり、情報交換をしたりして有意義な時間を過ごすことができましたらと思います。実行委員一同、皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

実行委員長 徳岡 英一

開催目的

全国のきこえない・きこえにくい教職員が一堂に集い、きこえる教職員とともに教育現場におけるさまざまな課題と実践成果を研究協議することによって教職員としての資質を高め、広い知見と豊かな感性を身につけることを目的とする。

参加資格

全国の教育機関に勤務するきこえない・きこえにくい教職員およびきこえる教職員、ろうあ団体会員、手話通訳関係者、聴覚障害教育に関心のある者、将来教職員をめざす者（大学生以上）

参加方法について

ハイブリッド形式（現地開催＆オンライン）ではありますが、新型コロナ感染防止対策の関係で、申し訳ございませんが、今大会は現地開催の参加希望の受付は中国・四国エリア在住の方のみとさせていただきます。なお、その他のエリアの参加希望者は自動的にオンライン参加扱いになります。

つきましては、ご理解やご協力をお願いいたします。

大会の流れ

<第1日目> 8/6 (土)

9:30-10:00 受付
10:00-11:00 定期総会
13:00-13:15 開会式
13:30-15:30 記念企画
(講演、トークショー)
16:00-17:30 情報交換会
(学部別)

<第2日目> 8/7 (日)

9:00- 9:15 受付
9:30-12:00 分科会
12:00-12:15 閉会式

記念企画 13:30~15:30

2013年、全国で初めて手話を言語であることを認め、手話の普及とともにろう者の人権尊重や共生社会をめざすことを明記した「鳥取県手話言語条例」が制定されました。制定されてから9年経とうとしている現在、条例が成立した自治体(道府県・区・市町村も含む)は452自治体にまでに至りました。(2022年5月25日、全日本ろうあ連盟ホームページ参照)鳥取県手話言語条例に基づいたさまざまな取組は、模範的なモデルとして、長らく全国各地から注目されています。

記念企画では、鳥取県教育委員会特別支援教育課指導主事の中井暁子先生に条例制定から教育現場にどのような影響をもたらしたのか、教育現場におけるさまざまな取組や理念について、お話していただきます。そして早期教育に携わっている早川恵先生、社会参加と自立にむけて取り組まれている高等部の桑原一哲先生をシンポジストとしてお招きし、その経験や教育実践の事例などを取り上げます。勤務されている学校は異なるものの、ろう教育の『入口』と『出口』にあたる学部で長年活躍されている2名の先生方に、条例制定後の教育現場に焦点をあてて、手話の必要性と求められる教育のあり方について、それぞれの想いを伝えていただき、討議を展開していきます。記念企画を通して、行政と教育現場の理想的な連携のあり方について学んでいきましょう。

シンポジスト 中井 暁子(鳥取県教育委員会特別支援教育課)

早川 恵(福岡県立久留米聴覚特別支援学校)

桑原 一哲(北海道高等聾学校)

鳥取県立鳥取聾学校

情報交換会 16:00~17:30

コロナ禍で、直接会えない状況が続きました。今回はハイブリッド形式で顔を合わせて、情報交換会を行います。所属学部ごとにグループに分かれて、日頃の取り組みや思いなどを語り合いましょう。

- ・教科指導
- ・生活指導
- ・自治会
- ・寄宿舎
- ・保護者対応
- ・複数の障がいをもつ子どもの指導
- ・その他
- いろいろ・・・

研究協議分科会 8月7日(日) 9:30~12:00

第1分科会 「自立活動」

今日のコロナ禍ゆえのマスク・コミュニケーションは、ろう者の諸生活場面に深刻な影響を及ぼしています。また就職面では職場実習機会の激減、採用控え等の新たな課題に直面しています。それゆえに教育現場には、発達状況に応じたICT導入、ソーシャルスキルトレーニングを通して、情報収集と選択のスキル、他者と協働して課題を解決していく学習支援が求められています。

本分科会では、わかりあえ、協働に繋がるコミュニケーション・スキルを高めるために、成人ろう者の就労につなげるコミュニケーション・トレーニングをロールプレイング体験しながら、ろう難聴の子どもに適した指導法と教材を考えていきます。ろう難聴の子どもたちの将来のために必要な力、自立活動のめざすべきものについて研修を深めましょう。

助言者 前田 浩(大阪ろう就労支援センター理事長、全国聴覚障害教職員協議会元会長)
話題提供者 矢羽田昇吾(大阪ろう就労支援センター指導員)

第2分科会 「教材研究と手話」

教材研究は、授業づくりの重要な役割をもっています。教材を通して、子どもたちにどのような力を付けていくのか考えながら総合的に研究し、教科等の目標や指導内容を具体的につかんだり、子どもたちの実態を把握したりすることも、教材研究の1つです。ろう難聴の子どもたちの視点に沿った教材研究や授業実践は、各校や研究会などで情報交換や議論はされてきたものの、手話という視点に沿った教材研究や実践例は少ない状況にあります。教科書に記載されている日本語の言語的構造や文化的背景、教材のねらいや内容を授業者が理解し、日本語とは別の言語である手話で「どのように考えさせていくか」「どのように教えていくか」について考察していくことを目指しています。

教科書の中から引用された文章をもとに、各グループに分かれて手話で表現する活動を行います。実際に手話で表現することで、気付いたことや疑問に感じたことを各グループの発表で共有していきます。

進行 戸田康之(埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園)
松本大輔(横浜市立ろう特別支援学校)

第3分科会 「身分保障と情報保障」

2016年4月に施行された障害者差別解消法は、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、社会的障壁を取り除くために必要かつ合理的な配慮を行うことを求められています。本会の調査によれば、400名を超える聴覚障害教職員が聾学校や聴覚以外の特別支援学校、通常校(小学校・中学校・高等学校)に就労しており、その数は増加傾向にあります。しかし、聴覚障害ゆえにコミュニケーションに制約があり、業務の遂行と勤務環境の調整については自助努力によるところが多い現状にあります。そのため、上司や同僚等の善意に委ねざるを得ない不安定な状況に置かれているといわれています。

本研究会では、身分保障と情報保障に関する様々な事例報告を紹介するとともに、質疑応答の時間を通して、参加者とともに考えを深めていくことを目指します。

助言者 羽田野真帆(常葉大学 健康プロデュース学部 こども健康学科 准教授)
報告者 篠原雅哉(石川県立いしかわ特別支援学校)
山根さやか(兵庫県立あわじ特別支援学校)

助言者および発表者などの新着情報につきましては、全国聴覚障害教職員協議会
ホームページにて7月中旬以降に、随時アップロードいたしますので、ご確認ください。

<https://zencyokyo.org>

全聴教

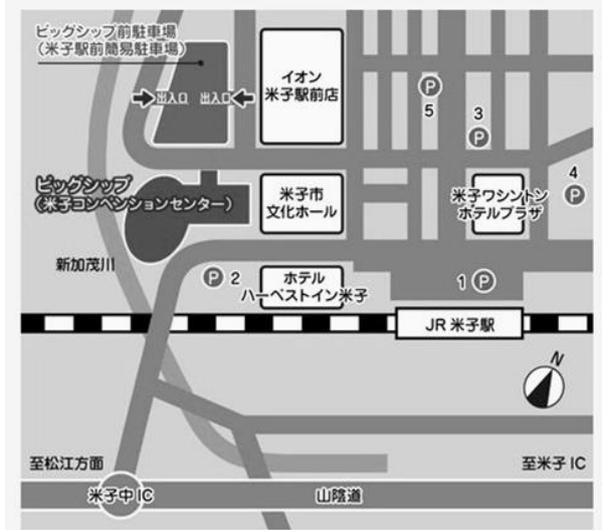
検索 

中国・四国地方対象

※中国四国地方以外の方はオンライン参加になります。

アクセス

■会場周辺図



【駐車料割引について】

ビッグシップ前駐車場（米子駅前簡易駐車場）に駐車し、駐車券を会場までご持参ください。会場で割引対応をします。

※駐車場 P1～P5 は近隣有料駐車場です。これらの駐車場ではコンベンションセンターの利用割引は適用されません。

<近隣有料駐車場>

- P1 米子駅前地下駐車場
- P2 弥生町有料駐車場
- P3 米子駅前パーキング
- P4 米子市万能町駐車場
- P5 駅前通り第一駐車場

■アクセス方法



※「特急やくも」は揺れが激しく、乗り物酔いしやすい方はご遠慮をお勧めします。
なお、岡山県・広島県から高速バスもあります。

米子駅から
会場まで
徒歩 5 分

実行委員会からのお願い(宿泊について)

実行委員会では宿泊の斡旋をしておりません。インターネット予約やパック旅行等の方がリーズナブルな料金でご利用いただけるとお思いますので、お手数ではございますが、参加者ご自身での宿泊予約をお願い申し上げます。

なお、会場は米子駅近くですので、米子駅周辺にあるホテルへの宿泊がおすすめです。

第29回全国聴覚障害教職員シンポジウム鳥取大会 新型コロナウイルス感染症に関する対応

全国聴覚障害教職員協議会 会長 木村美津子

第29回大会実行委員長 徳岡 英一

【現地開催の可否の判断】

- ①新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、6月30日（木）の時点で現地開催が可能かどうかを役員と実行委員で判断します。
- ②6月30日（木）時点で現地開催が可能であると判断した場合でも、その後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては現地開催の中止を検討する場合があります。
- ③現地開催を中止する場合は、大会参加者へのメール送信、ホームページへの掲載で連絡をします。なお、大会案内の通り、現地開催をする場合は特に連絡はしません。

【現地開催中止の場合】

- ④現地開催中止の場合は、後日、オンライン（オンデマンド方式）開催として大会を行います。
- ⑤大会がオンライン（オンデマンド方式）開催となった場合でも、参加費の返金はしませんので、ご了承ください。
- ⑥大会がオンライン（オンデマンド方式）開催になった場合、登壇者（講師、シンポジスト、研究発表者）の発表内容（事前録画したもの）等が、オンデマンド配信されることもあります。この場合、質疑応答はできませんことをご了承ください。
- ⑦大会がオンライン（オンデマンド方式）開催となった場合、総会もオンライン形式で行います。ホームページに総会ページを設置します。総会資料の確認、質問受付、採決を総会ページ内で行います。

<開催県からのお願い>

◎新型コロナウイルス感染症対策のため、会場にご参集のみなさまにお願いがあります。

- ①鳥取県外から参加の方は、可能であれば「来県前にPCR検査・抗原検査により陰性であること」をご確認くださいとありがたいです。
ただし、検査結果を示す「陰性証明書」を求めることはいたしません。
また、必ずしもPCR検査・抗原検査の受検を必須とするものではありません。
- ②大会当日には、受付にて「消毒」「検温」「体調確認」「マスク着用」をお願いいたします。
発熱や風邪症状がある場合、オンライン参加に切り替えるなど、感染症対策へのご協力をお願いします。
- ③大会参加中に発熱や風邪症状がみられる場合は、遠慮なく事務局にお知らせいただくようお願いいたします。

参加申込について

今大会も引き続き、インターネット（スマートフォン可）による「ウェブ申込」により申込できます。
なお、引き続き「参加申込書」による申込も可能です。



【会員区分】について

2021年度会費（2021年6月～2022年5月）を納めていない方は「一般参加」扱いとさせていただきます。なお、一般参加で2日以上参加の方は、大会参加費に2000円加算したものとなります。ただし、大会当日に全国聴覚障害教職員協議会の受付にて入会される方は会員扱いとなりますので、入会を希望される方は参加費の「入会予定」に○をつけてください。

【参加希望分科会】について

- ご希望の分科会を必ず第3希望までご記入ください。申し込み多数や人数の関係で調整させていただくことがありますので、ご了承ください。
- 一般、保護者の方は第1・2分科会をお願いします。
- お申込み後の分科会希望の変更はできませんので、ご了承ください。

※参加申込書にご記入いただいた個人情報は、本大会でのみ使用し、それ以外の目的には一切使用しません。
※分科会に関すること及びアンケートに関して担当からメールをさせていただくことがあります。
※「参加申込」と「参加費の振込み」をもって参加申込が完了となります。その旨を、申込書に記載された連絡先に実行委員会より、FAXかE-mailで「受領通知」の連絡をさせていただきます。

◆ 参加申込書送付先

〈インターネット（推奨）〉 <https://forms.gle/DvNMmPmqFKWXDS2s7>

〈FAXによる参加申込書送付先〉 FAX 0857-27-8606
鳥取県立鳥取聾学校内 第29回全聴教シンポジウム鳥取実行委員会 宛



◆ 参加費振込先 ※ 参加費は下記のゆうちょ銀行口座に振り込んでください。

〈ゆうちょ銀行からお振込みの場合〉

口座番号： 記号 18410 番号 25652251

口座名義： 第29回全国聴覚障害教職員シンポジウム鳥取大会実行委員会（カタカナ）

〈他金融機関からお振込の場合〉

ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900） 店番：八四八（ハチヨンハチ） 預金種目：普通預金
当座口座 口座番号：25652251

【大会に関する問い合わせ先】

第29回全国聴覚障害教職員シンポジウム 鳥取大会実行委員会
〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1261 鳥取県立鳥取聾学校内（尾田将史）
FAX番号：0857-23-2031
TEL番号：0857-27-8606
E-mail zentyokyo.tottori.29@gmail.com

FAX 先 第29回全国聴覚障害教職員シンポジウム鳥取大会 現地事務局 **0857-27-8606**
 この申込書は7月8日（金）までに送付ください

第29回全国聴覚障害教職員シンポジウム鳥取大会 参加申込書

【参加形式】

現地開催	
オンライン	

※希望される参加方法に○をご記入ください。

フリガナ		聴覚障がい者・きこえる人	
氏名		勤務年数	聴覚関係学校（ ）年
			その他の学校（ ）年
勤務先 (学校名)		所属（部）	
	FAX	教職員 [幼・小・中・高・専・舎] 事務・学生・教職員OB 保護者・その他（例：支援員） （ ）	
連絡先	〒		
	FAX	E-mail	

※E-mailにてシンポジウム参加に関するお問い合わせをすることがあります。

※ 当てはまる参加区分、参加予定や購入希望に○をつけ、合計金額をご記入ください。

参加予定日を教えてください。 8/6 ・ 8/7			参加費合計金額
【参加費】	2日以上 参加の方	会員（正・賛助/入会予定）	5,000円
		学生会員	4,000円
		一般（非会員）	6,000円
		学生（非会員）	4,500円
	1日のみ 参加の方	会員（正・賛助/入会予定）	2,500円
		学生会員	2,000円
		一般（非会員）	3,000円
		学生（非会員）	2,250円
			円
			円

※7月15日（金）までにお振込ください。

参加申込・入金が確認できましたら、実行委員会より連絡させていただきます。

※参加費は手話通訳、文字通訳等の情報保障を確保するためにこのような価格設定となりました。
 なにとぞご了承ください。

【分科会の希望】

第1希望	第_____分科会
第2希望	第_____分科会
第3希望	第_____分科会

※希望順に「1～3」（第〇分科会の数字をご記入ください）

情報保障 (希望に○)		要約筆記		触手話		読み取り通訳		その他（ ） 例：FMマイク等
その他、何か配慮を希望することがあれば書いてください。								